

固定的性別役割分担意識とは

「男は仕事・女は家庭」のように、個人の能力とは関係なく 性別を理由として役割を分ける考え方のこと

男たるもの稼いで家族を養うべきだし、女性を守るヒーローじゃなきゃいけないよね？小さなころから周りにそう言われてきたよ。



本当にそうかな？時代の変化もあるかもしれないけど、今回の調査では男子の半数近くが「男性は女性を守るものだ」と思っているのに対して、女子は男性がその役割を担うべきとは思っていないことがわかったよ。



女性はいかに弱い存在なので、守らなければならない

男子 **Yes 49.0%** **No 50.9%**



女子 **Yes 25.5%** **No 74.3%**

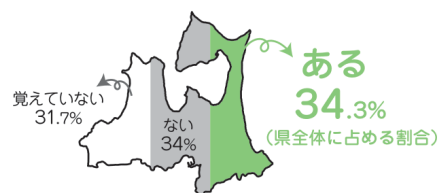


そうなんだ。「守らなきゃ」「リードしなきゃ」と自分に言い聞かせていたけど、僕も少し肩の力を抜いてもいいのかもしれないなあ。

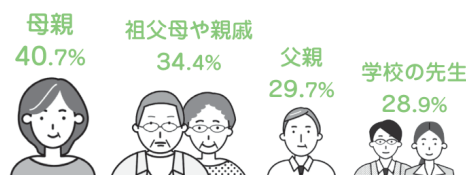


高校生8,800人に聞いてみた「あなたの経験」

Q1 誰かに「男性なんだから」または「女性なんだから」と言われた経験



Q2 誰に言われた？



Q3 役割の決めつけや偏見の情報発信を感じたことがあるもの（上位4項目）

インターネット・SNS

53.4%



テレビ・ラジオなどのメディア

35.5%



学校の活動

14.4%



家庭生活

11.2%



高校生8,800人に聞いてみた「あなたは思う？」

Yes or No

※本誌では、令和7年度高校生の固定的性別役割分担意識に関する調査報告書内において「そう思う」「どちらかというと思う」をYesとし、「そう思わない」「どちらかというと思わない」をNoとして集計した。

家事・育児は女性ができるべきだ

Yes 11.0% **No 88.9%**



組織のリーダーは男性のほうが向いている

Yes 22.2% **No 76.7%**



本調査では「女性（男性）は〇〇すべきだ」などの性別による役割分担についての質問25項目のうち、NO「そう思わない」が22項目であった。

この調査ではNo「そう思わない」という回答が多くみられたよ。高校生自身は、性別による「〇〇すべき」という考えがそれほど強くないことがわかるね。



中には男女別集計をしてみると、男女で考えに差がでる回答もあったよ。



男は仕事をして家計を支えるべきだ

男子 **Yes 64.5%** **No 35.4%**



デートや食事のお金は男性が負担すべきだ

男子 **Yes 34.4%** **No 65.5%**



女子 **Yes 40.8%** **No 59.2%**



女子 **Yes 10.7%** **No 89.1%**



「男は仕事、女は家庭」はもう古い？
高校生の声からみるジェンダー意識の変化

令和7年度、青森県男女共同参画センターでは、県内の高校2年生8,800人を対象に、固定的性別役割分担についての大規模調査を実施しました。今回の特集では、その調査結果から見えてきた現役高校生の意識や、若者にかえられる周囲の声についてご紹介します。

n=3,472

Q4

実際にどんなことを言われた？

「男性だから・女性だから」という性別による決めつけについて
高校生自身の経験を聞きました。

男は
強くあれ。

女なんだから
掃除しなさい、
料理をしなさい、
できないとモテないよ。

女に
大学進学は
必要ない。

女で
背が大きいと
可愛くない。

男が
スキンケアなんて
女々しい。

跡継ぎ

女らしい
態度と言動を
心がけなさい。

大声で笑ったりするのは
変だと言われた。

女の子なんだから
長い髪を
大切にしなさい。

女子力が
ない。

女で理系だと
リケジョ
「理系女」

男のくせに
泣くな。

うれし泣きをした時も言われた。
男だって涙腺はあるのに。

力仕事は
男がやるもの。

女子でも持てるものなのに
手伝いに呼ばれるのはいつも男子。

性別による決めつけについて
実際に寄せられたコメント

170件超

■男女で態度が違う先生がいるのはどうかと思う（男子）
■女子のデパート代は男子がおごるものというのは納得ができない（男子）

■性別で決めるのはあまり良くないと思う。でも性別によって向き不向きなものもあるから難しい（男子）
■祖父から、女性には家事ができなければ結婚しても破局されると言われ、非常に腹が立った（女子）

■協力次第で両立できるはずなのに、親戚の集まりで女性ばかりが働き、男性はお酒をゆつくり飲んでいことに違和感があった（女子）

■男性だから女性だからというのは自分にとっては嫌。体格差など違いがあるのはわかるが、平等に接してほしいと思う（女子）

青森県の人口流出の
一因にもなっているかも

■青森は好きだが、将来の自分のキャリアを考えたときに、女性
は家庭優先という風潮によって

選択肢が狭まるのではないかと不安になることがある（女子）
高校卒業後の進路で、県外を選ぶ生徒の12人に1人が、県外を選ぶ理由として「精神的に楽だから」と回答しており、地元で生活することへの息苦しさを感じている様子がうかがえました。

高校卒業後の進路



県外希望
52.6%

今回の調査では、若者にとって性別による役割の決めつけは、人生の道しるべとはならず、むしろ生きにくさや将来の「壁」となりうるものであることが見えてきました。

誰もが自分の価値観を大切にし、尊厳をもって生きられる社会になるために、まずは「女らしく」「男らしく」という言葉について、一度立ち止まって考えてみませんか。

（担当：船水明季）